

植物遺伝資源探索導入調査報告書

昭和58～59年度

昭和60年 12月

農業生物資源研究所編

生物研資料60-(5)
昭和 60 年 12 月

とりまとめ 生物研 遺伝資源部
(連絡先) 探索導入研究室

ま え が き

我が国の農業発展において植物遺伝資源の重要性は近年とくに強調されてきたところである。日本は国土も狭く、工業化が進み、農業分野でも新しい技術が普及し作物栽培の効率化ひいては単純化が急速に進みつつあり、遺伝資源の国内外からの探索・収集が一段と重要性を増している現状であり、関係機関の協力を含め大きな努力が払われてきたところである。

海外探索収集の成果は、昭和57年度までについては、農林水産技術会議事務局連絡調整課から「有用遺伝子の探索導入事業等の概要」の形で各年度毎に内部資料として報告されてきた。しかし、農林水産ジーンバンク事業の発展・拡大とともに、探索調査報告書は従来の事業報告から一歩進めて、研究者に情報として広く提供することが大切と考え、農業生物資源研究所研究資料として公刊することとした。

一方、国内における植物遺伝資源の収集保存も重要な課題である。これまで「国内希少遺伝資源の緊急収集保存事業」として予算化されているのみならず、関係機関において従来より継続的に進められてきたものである。昭和59年度に、「国内遺伝資源の収集実績概要」に関するアンケートを関係各機関にお願いしたところ、各場所から探索・収集に関する貴重な資料を寄せられたので、これらを取りまとめ、ここに収録させていただいた。

当所は昭和60年度より植物遺伝資源のセンターバンクとして位置付けられ、関係機関各位のご協力をえながら長期的かつ国際的な視野に立ち、当部が中心となって遺伝資源の収集・保存・評価・利用のためのジーンバンク事業を推進していく立場にあるが、この一環として、本報告をまとめ各位の研究資料として活用していただくとともに、今後のご協力を切に希望する次第である。

昭和60年12月

遺伝資源部長

鈴木 茂

植物遺伝資源探索導入調査報告書（昭和58—59年度）

目 次

		ページ
まえがき	遺伝資源部長 鈴木 茂	i
1. 国内探索収集の現地記録（昭和59年度）	（担当研究機関）	1
1) 雑豆，ソバ，エゴマ等	生物研 探索導入研究室	2
2) イネ	生物研 放射線育種場	6
3) オーチャードグラス	草地試 育種第1研究室	6
4) アルファルファ，シロクローバ	草地試 採種研究室	8
5) 果樹類（支場，指定試験地を含む）	果樹試 育種第4研究室	10
6) サトイモ，ヤマイモ，ニンニク	野菜試 育種第1研究室	28
7) レタス	野菜試 育種第2研究室	32
8) ハクサイ	野菜試 育種第4研究室	34
9) 茶	茶試 茶樹第2研究室	34
10) 桑	蚕試 桑育種研究室	34
11) タマネギ	北農試 園芸作物第2研究室	36
12) アカクローバ，アルファルファ	北農試 牧草第1研究室	36
13) オーチャードグラス，チモシー等	北農試 牧草第2研究室	42
14) ダイズ	東北農試 栽二 作物第4研究室	46
15) シロクローバ	東北農試 草地第1研究室	50
16) イタリアンライグラス	北陸農試 作物第4研究室	56
17) トールフェスク	九州農試 牧草第2研究室	56
18) ダイズ，インゲンマメ	道立中央農試（大豆指定試験）	62
19) ダイズ	道立十勝農試 豆類第1科	62
20) アズキ，ダイズ	道立十勝農試 豆類第2科	64
21) チモシー	道立北見農試 牧草育種	66
22) アルファルファ，ローズグラス等	愛知農総試 畑作研究室	70
23) イタリアンライグラス等主要牧草	山口農試 牧草育種研究室	70

24) トウモロコシ	宮崎総農試 都城支場	78
25) テッポウユリ	鹿児島農試 花き部	78
26) ススキ (サトウキビ近縁種)	沖縄農試 (育種指定試験)	78
2. 国外探索導入について (昭和58~59年度実施分)		81
1) インドネシアにおける大豆有用遺伝子の探索導入	番 場 宏 治 高 橋 信 夫	82
2) こんにゃくの探索導入 (タイ, フィリピン)	三 輪 計 一 清 塚 泰 昭	92
3) コムギのトルコ, エジプトにおける探索導入	天 野 洋 一	98
4) 野生稲等の探索導入 (バングラデシュ)	水 野 進 奥 津 喜 章	112
5) 中南米におけるトマト, トウガラシ, カボチャの探索収集	小 餅 昭 二 小 林 忠 和	130
6) インド, インドネシア, タイ国における茶樹の調査・探索と収集	鳥屋尾 忠 之 岡 部 信 雄	150
7) 北米大陸におけるブドウの収集	雨 宮 毅 角 利 昭	156
8) 豆類遺伝資源の海外調査 (韓国)	原 正 紀 村 田 吉 平	172
9) いぐさ・牧草の探索収集調査 (ニュージーランド)	定 平 正 吉 赤 木 豊 樹	194
3. これまでの国外遺伝資源探索収集チームの派遣実績		228

2. 国外探索導入報告（昭和58～59年度）

